

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



ご挨拶



国際歯科学士会 (ICD) 日本部会が活動を始めて70年が経過いたしました。その間大きな歴史の変動の中で、素晴らしい先人達によって受け継がれてきたICDの崇高な理念とそれを実践してこられた力は、今も脈々と流れています。

WHOがパンデミック宣言をした2020年以降社会環境は大きく変化し、対人交流も今尚まならない状態が続いております。このような大切な時期、隅田百登子先生の後を受け会長を仰せつかりました。コロナ禍の2年間、予防という医療の基本を見直し専門医としての果たすべき役割の大きさを痛感しております。

前任の隅田会長が築き上げられた事業を継承しつつ、歴史ある学術団体として相応しい活動ができるよう努力してまいります。

皆さんがお持ちの高い専門医としての力を存分に発揮して頂き、利他のために貢献することこそ、ICDが理念とする奉仕の精神であろうと考えます。

今後も会員各位のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(一社)ICD日本部会 会長 鏡 宣昭

歴代会長のことば



ええ～っ もう古希！

つい数年前に皆さんから還暦のお祝いをして頂いたばかりと思っていたのに。この10年の月日の経つのは本当に早く言葉に表しようのないくらいでした。その間に事務局長、29代会長と歴任させて頂きました。会員の皆様と楽しく大いに語りあった事、特に新しく始めた錦齢会や菁々会での出会いなどもありました。また台湾との交流では日本から24名のフェローと共に台湾部会を訪れ大盛況でした。ICD日本部会のフェローの皆さんにはただただ感謝するのみです。

少しゆとりが出来たので普段の診療はもちろんのこと、学会や講習会等にも出来るだけ参加をして旧知の間柄の人達との再会を楽しみに各地に出向いています。また台湾やミャンマーの先生との国際交流も長く続けておりますが、このコロナ禍ではメールやLINEでのやりとりをしています。これもまた今までにない形のお付き合いで楽しくて良いものですよ。

若い頃からの趣味のゴルフと尺八は心身リフレッシュのため『明るく楽しく』をモットーに続けています。

ここ3年コロナ禍のため生活様式が一変してしまい皆様と集い楽しく歓談する事ができず寂しい思いをしておりました。一日も早く安心して会合が開ける事を祈念しております。

とりあえず いつまでも元気な 73歳 水谷です 第29代会長 水谷 忠司

2023年度
三大事業 開催予定

第66回総会・認証式
2023年6月3日(土)
ホテルメトロポリタン
エドモント

年末集会
2023年12月16日(土)
帝国ホテル(東京)

*皆様のご参加を
お待ちしております*

歯周病予防による全身の健康の維持・増進について、歯周病治療に関する多くの臨床例とともに先生の歯科医院での歯周病治療システムの紹介を通して詳しく解説されました。それぞれの講演後には参加者から多くの質問が寄せられ有意義な学会となりました。

事業運営(冬期学会担当)委員会 委員長 斎藤 隆史



講師および冬期学会担当委員



林 昌二フェローによる講演



若林健史フェローによる講演

● 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申しています。今期は大岡 洋常任理事、内田耕司理事、中村委員長、竹島明道副委員長、和久本雅彦委員、麻生幸男委員、照山裕子委員、阿部健一郎委員、北田真紀委員、原元信貴委員、安達一典委員の11名の構成です。

現在は、ICD日本部会の社会的知名度を上げる目的

と本会の社会奉仕活動活性化のため、ICDアワード及びICD特別賞を実施するための協議を重ね、第3回ICD特別賞表彰式(2023年6月)の準備をしています。また年度末には受賞者の所属大学において、第2回ICDアワード(学生対象)の表彰式が開催されます。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

● 広報・編集委員会

広報・編集委員会は、今村嘉宣常任理事、飯島裕之理事のもと、ICD日本部会雑誌の発刊、HP、Facebookの管理・運営を行なっています。委員会開催はオンライン(Zoom)で行っており、今年度は対面での開催は未だありません。しかし時間の節約と有意義な議論はできています。昨年は本部からのオリエンテーション・リーダーシップ・マニュアルの提示があり、国際交流委員会のご協力により翻訳された抜粋版を合わせ、9月に「雑誌第53巻1号」を発刊しました。特別企画では、歯科医学におけるSDGsについて3先生にご執筆を頂きました。またオンライン開催した第52回冬期学会講師(日本部会フェロー)の講演内容も収載

しました。フェローの先生方からの投稿もあり大変ボリュームのあるものとなりました。なお今年度はオリエンテーション・リーダーシップ・マニュアルの追加のため、例年より発刊が遅くなりましたこととお詫びいたします。

2023年度の雑誌第54巻1号も新しい特別企画を開始し、新フェロー投稿をさらに充実させる予定です。HP、Facebookで積極的に情報発信を行い、随時更新しています。ぜひ閲覧・登録をお願いします。ご意見やアドバイスも大歓迎です。

広報・編集委員会 委員長 堀江 卓

● 国際交流委員会

国際交流委員会が最も大切にしている活動は「韓国・台湾部会をはじめとした他のセクションとのリアルな交流による相互理解」です。しかしここ数年と同じく、総会・認証式での動画の交流は続けているものの、今年度もface to faceの交流はかないませんでした。

しかし、それに劣らない交流に当委員会は取り組んでいます。年末集会での留学生交流事業です。今年度は神奈川歯科大学に留学中の韓国の朴熙泰先生が歯牙菌数・形態のゲノム解析を、モンゴルのアルタンバガナ・ナンデンウチラル先生がモンゴルの歯科教育制度

などをご発表、フェローの皆様も熱心に聴き入り、質問も多数ありました。

留学生との交流を図る意義は、将来の国際交流の種を蒔いておくことです。日本に留学してくる学生は、帰国したのちに母国の歯科界をリードする存在となります。お二人ともこれまでICDのことはご存知なく、この交流を契機に将来、わが国と韓国、モンゴルの架け橋の存在となることを期待したいと思います。

国際交流委員会 委員長 森永 宏喜

● 財務委員会

ICD日本部会は、長期的な会員数減少と運営基盤の困難さの中での対応が求められるようになってきました。このような状況の中、財務委員会は本会の財政運営を担当する財務主事を支援する委員会として活動してきました。

現在の財務委員会は中村勝文財務主事のもと私の他に西田紘一副委員長、小嶋太郎委員、佐藤節子委員、藤井佳朗委員により運営がされています。

今年度は秋以降、委員の間で本会の財務の在り方について議論を行い、2022年9月27日付けで、ICD日本部会の支出削減と収入増加について意見をとりまとめ

ました。また、11月の委員会では、会の運営が以前よりも厳しくなっている実状も踏まえ、昨年秋の円安の状況等の推移を考慮し、海外旅費の取扱いについていままでの慣例を踏まえながらルールを定めることを議論しました。

今後も本会の活性化に貢献ができるよう、財務委員会としての対応を行っております。なにかあれば、ご照会ください。

財務委員会 委員長 上條 英之

● 会員支援委員会

私ども会員支援委員会は、主として認証式におけるニューフェローの先生方の各種お手伝いおよび菁々会、錦齡会という年2回の会員親睦会の開催を活動内容としております。今年度認証式に於いては5名のニューフェローをお迎えし、各種お手伝いをさせていただきました。コロナ収束はまだ見えてきませんが、年末集会も盛会で今後のICDの発展を予感させるものとなりました。2月には冬期学会が開催されますが、

今回はオンラインとなります。

今後はパンデミックの終息とともに、再び世界のフェローとの交流が増えてくる事も予測されます。今後私どもの委員会では、更なる新入会員の増強につながるような、より意義のある会員支援の在り方についても模索して行きたいと考えております。

会員支援委員会 委員長 安藤 正実

● 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

この特別委員会は、前年度に続き感染症対策特別委員会として鏡会長により設置されました。前委員会では、国内外の研究論文等を収集し、特に感染経路について各論文を検証した結果、換気能力の十分な施設では空気感染の発生は確率が低く、主な感染経路は飛沫感染と結論づけるに至りました。この結論は本年も覆ることなく2022年12月の年末集会は、政府の感染対策および帝国ホテルの感染対策基準に沿って開催しまし

た。開催にあたり、本委員会作成の参加者健康チェックシートを前年同様に活用し、一部規制緩和された状況下でも感染者を出さずに年末集会を行うことができました。本年度は、健康チェックシートに加え、集会後の健康観察についてもフォローアップを行い、よりきめ細やかな対策をとりました。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員長 内田 耕司

◎ 第2回ICD特別賞 表彰式報告



2022年6月4日(土)第65回総会・認証式の中で、第2回ICD特別賞表彰式が開催されました。

この表彰制度は、宮崎 隆マスターの御尽力により創設され、隅田前会長により実現に至った制度で、第2回目の表彰式が執り行われました。

ICD特別賞とは、歯科医学・医療を通じて国際的貢献を行なった歯科医師を表彰するもので、国際歯科学士会に相応しい表彰制度であり、第2回は佐藤吉則マスター(中国での研修プログラム等)、隈部まさるフェロー(エイクレス開発等)、齋藤 毅マスター(第25代会長時の国際理事会開催等)の御三方が受賞されました。

歯科界をリードする功績により受賞された3名の先生方に、改めて敬意を表したいと思います。また、ご協賛いただいた企業(ジーシー、デンツプライシロナ、モリタ)の皆様に、心より御礼申し上げます。



第2回ICD特別賞受賞者と協賛企業

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

刊行物／ホームページ・Facebookのご案内



国際歯科学士会 日本部会雑誌



The Globe



ICD日本部会ホームページ
<https://www.icd-japan.gr.jp>



ICD日本部会 Facebook